



週報Rotary

所沢西ロータリークラブ
RI第2570地区 第3グループ

イマジン
ロータリー

会長：荻野 陽一 副会長：本橋 正夫
幹事：金岡 悟 会長エレクト：本橋 源太郎
クラブ管理運営委員長：木下 精基

例会場：〒359-1127 埼玉県所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ・グラン TEL.04-2923-4122
事務局：〒359-1118 埼玉県所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL.04-2926-1666
例会日：毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX.04-2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp HP <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

4つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか
1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

第 1696 回例会 2023・6・6

ココロ 11,000円 累計 600,000円

卓 話	例会当番	記念祝福
6/6 炉辺会議 リアン	内野 忍	6月会員誕生
6/13 例会取り消し		石井 秀夫 師岡 友次
6/20 クラブ協議会	上野 孝二	
6/27 エンディングパーティー 夜間例会 於；堤新亭	川島 昇	

■出席報告	
月 日	5/30
会員数	35
出席者	25
出席率	—
前回修正	—

会長の時間 荻野 陽一



みなさんこんにちは、先日の親睦旅行多くの方々に参加をいただきありがとうございました。天候にも恵まれとても楽しい親睦旅行が出来ました。ご協力ありがとうございました。

本日卓話の講師は、茶道裏千家 池ノ谷宗真様とお弟子様の皆様においでいただいております。「心豊かに抹茶を楽しもう」と言うことでお願いいただけるそうです。どうぞよろしく お願いいたします。

先週の土曜日、羊山公園の入り口にある「ローターの森」へ記念の樹の維持管理に行ってきました。毎年事務局の大原さん中心に行ってきたのですが、このところは、コロナの影響で出来な

かったそうです。

今回、本橋副会長が音頭を取っていただいて、本橋副会長、前年度会長の師岡さん、木村さん、大原さんと私で行ってまいりました。

ローターの森には、2570地区各クラブの様々な樹が植えてありました。私たちのクラブでは、ヤボウシと言う樹が植えてありました。他のクラブでは、けやき、イチョウ、ヒノキ等とても大きな樹が植えてありとても目立っていましたが、私たちクラブの樹は、手頃の大きさで手入れがとてもしやすく助かりました。又、この森は、それぞれの樹バランスよく植えられている為か、心地よい日影になっていてとても過ごしやすく、気持ちよく作業出来ました。休日をゆっくりと過ごすには快適な場所だと思います。皆様も時間が有りましたら是非訪れて見られたらと思います。

又、こちらで活動してみまして、「ローター森」にとても興味を持ちましたので、調べてみました。

ご存知の方も多いかと思いますがお話をさせていただきます。1995年～1996年の、第2570地区のガバナーであった、秩父ロータークラブ 金子様の発案により、

地区大会の記念事業の一環として秩父市と横瀬町の境界に当たるこの地に、友情の架け橋として、第2570地区全クラブの市町村の木が植樹されたそうです。その年度の地区テーマが「水と酸素を生む森、守ろう足元から地球環境」であることも影響したそうです。

毎年各クラブの方々にお手伝いを頂いて、森の維持管理を行っているそうです。

又、ローターの森の誕生には、大変深いお話がありました。1995年の世界ローター 創立90周年大会で、当時RIブライオン会長が、その頃国際紛争が起きていた南米のペルーとエクアドルのガバナを壇上に招き上げ二人に握手させて「ピース、ピース」と叫んだそうです。この行動が、やがて両国紛争解決の切っ掛けとなったそうです。そして、こちらの「ローターの森」の計画地だった場所は、その頃横瀬町の「姿の池」と秩父市のグランドに挟まれた湿地帯（現在地）だったそうです。

そこに「ローターの森」を作ろうと提案されたそうです。この湿地帯は、秩父市と横瀬町の境界線が確定せず長い間未解決のままであったそうです。

そこへ「ローターの森」を造成する提案をされ、当時の秩父市長と横瀬町長が賛同してくれてこの森が誕生したそうです。その結果 自然と境界線の問題は解消されたそうです。とても良い話と思ってお話させていただきました。

幹事報告

金岡 悟

◎ 2023—24 年度 米山記念奨学委員会セミナーのご案内 7月9日（日） 午後1:30 登録受付

「アルコール迎賓館川越」

◎ 所沢市長表敬訪問のお知らせ

7/10（月）13:30～（20分間程度）

所沢市役所 1階ロビー 集合

◎ 訃報

・ 所沢西ロータークラブ 高橋 和男様 ご尊父
高橋 義男様

「お別れの時」

日時 6月3日（土）9:00～18:00

会場 「日本礼装」

住所 入間郡三芳町大字上富 1165-3

・ 入間南ロータークラブ パスト会長 深井 善次様
通夜 5月25日 午後5:00
告別式 5月26日 午前10:30～
場所 瑞穂斎場 大式場

◎ 次年度 役員・理事のお知らせ・・・入間 RC、
狭山中央 RC、所沢 RC、新所沢 RC、所沢東 RC

◎ 例会変更・・・入間 RC

◎ 週報・・・入間南 RC

奉仕プロジェクト委員長

木村 孝子



去る5月27日新緑の中、午前10時より秩父羊山公園内にて「水と酸素を生むローターの森」に、第2570地区全クラブ各樹木を剪定し、当クラブも荻野会長始め、本橋副会長、師岡直前会長、奉仕プロジェクト委員長 木村、事務局大原さんの5名で参加し、“ヤマボウシ”を剪定して参りました。それほど大きな樹木ではありませんが、すっきりとカットして風通しが良くなり、良かったです。

来年度（ローターの森）が今後も維持、管理が出来るよう奉仕活動に参加したいと思いました。皆様お疲れ様でした。



- 荻野 陽一** 親睦旅行には多くの皆様に参加いただきありがとうございます。本日の講師は、茶道裏千家 池ノ谷 宗眞様にお出でいただいています。茶道の素晴らしさを教えていただけたと思います。どうぞよろしく願い致します。
- 金岡 悟** 先週の親睦旅行は参加の皆様お疲れ様でした。内野親睦委員長 大変お疲れまでした。とても楽しい旅行でした。本日は池ノ谷様 裏千家の皆様宜しくお願い致します。
- 鈴木 真澄** 本日はお忙しい中、池ノ谷様には卓話では お茶会 楽しみにしております。
- 木村 孝子** 今日、本日池ノ谷様においで頂き卓話並びに お茶会 楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。
- 本橋 正夫** 先日の親睦旅行担当の皆様 大変有難うございました。楽しかったです。本日の講師 池ノ谷様 大変ありがとうございます。宜しくお願い致します。
- 室伏 秀樹** 裏千家の皆様 本日は有難うございます。亡き母も永年やっていました。思い出します。
- 内田 学** 本日は、美味しいお茶まことに有難うございます。おうす 大好きです。
- 恒良 裕子** 親睦旅行はお天気にも恵まれ 無事帰ってくる事が出来ました。有難うございました。本日は池ノ谷先生 宜しくお願い致します。
- 和記 毅** 早退しました。
- 大原 律子** 親睦旅行のお土産有難うございました。大事にいただきます。5月27日の「ローターの森」奉仕活動に参加しました。所沢西の「ヤマボウシ」の木は、周りの大きな木に負けないで、鮮やかな黄緑色の葉をいっぱいつけ、健気に頑張っていました。



本日は所沢西ロータークラブ様例会にお招きいただき、誠に有難うございます。今日は皆様に茶道にまつわるミニ知識を幾つかご紹介いたします。少しでも茶道をより身近なものに感じていただけましたら幸いです。

まず、私ども裏千家の流祖は千利休でございます。

今から500年ほど前に堺の納屋衆の家柄に生まれました。納屋衆とはわかりやすく言うと倉庫業のことです。本日お越しの中にも同業の方がいらっしゃるかもしれません。当時の境の商人は歌人であり連歌師であり、茶人でもある文化人という側面がありました。

その中で利休も10代半ばから茶道方面に才能を発揮し、今日に名前が残るほどの偉業を成し遂げました。その頃より今日に至るまで茶の精神として「和敬清寂」という四字が伝わっています。この四字の意味について簡単に申し上げますと、

「和」— 和をもって貴し為すという言葉がある通り、お互いが仲良くする和し合うということ。社会生活の基本となる精神を表しています。

「敬」— 尊敬の敬であり、お互いが敬い合うという意味です。互いが助け合い生かされているから自分を取り巻く総てに敬いの心を持って接すべきとの教えです。

「清」— 読んで字のごとく、清らかという意味です。目に見えるだけの清らかさだけでなく心の中が清らかであるという意味です。それには日頃から自分の心・気持ちを清めようとする素直な心が一番

大切なことだと教えています。

「寂」— どんな時にも動じない心のこと。不動心
ということ。そのためには事前の準備を怠らず
心に余裕を持つことと教えています。

次に皆様のお手元に一椀が届くにはどんな過程
があるのでしょうか。お抹茶を生産して下さる農家さ
んやそれを合組み（調合）して下さる茶師のおか
げで毎年同じ味の抹茶を飲むことができます。美味
しいお茶を楽しむとき、茶道具も楽しんでいただ
きたいです。とりどりのお茶碗、塗師（ぬし）による棗
（なつめ）や盆、建具の美しさ、表具師による軸や
襖、指物師や釜師等、日本伝統工芸の技が結集し
ています。職人さんが心を込めて造った道具です
から値段の高低ではなく大事に使わせていただ
くのです。

こうして自然の恵みと職人技と最後にお点前さ
んの手によって一椀をお届けいたします。これか
ら皆様にお届けする一椀がおいしい一椀となるよ
う念じて、私の卓話とさせていただきます。



親睦旅行

5月21日(日)～22日(月)伊豆半島



ドライバーさん、宜しくお願い致します。



おいしい ウナギ いただきまーす

